

大津 エンパワ ねっと通信



龍谷大学「大津エンパワねっと」は学生と地域が協働してまちづくりに取り組むプログラムです。
since 2007
〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス内 大津エンパワねっと(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail: shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
HP: http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

第4期生 「地域エンパワねっと」報告会 STEP2 見つける STEP3 共有する

エンパワ
ねっと
4
期生

2011年度「地域エンパワねっと」 報告会を開催しました！

2012年
1月22日(日)
9:30～12:30

大津市ふれあいプラザ
(明日都浜大津)
4階ホール



【プログラム】

- ・ポスターセッション
- ・学生による活動発表
- ・全体のふりかえり

今年度も「地域エンパワ
ねっと」の報告会を、学生
が活動する地域の方々約40
名と、一般学生、行政関係者
なども合わせて計約100名の
参加をえて開催しました。

今回から報告会の進行を少し変更し、ま
ずポスターセッションからスタートしまし
ましたが、早くから会場にお越しいただいた地
域の方々は熱心に学生の作成したポスター
を見てくださり、学生たちも懸命に説明し、
質問に応じていました。

その後、5組の学生グループの報告とそれぞ
れに対する地域の方々からのコメント、教員か
らのふりかえりという流れで会は進みました。

各グループのポスターもそれぞ
れに工夫し、発表グループの報告
も全体的にととてもわかりやすい内
容で、自分たちの活動をきちんと
伝えようという学生たちの思いが
よく表れていました。

私は今回初めて授業担当教員とし
て報告会に参加しましたが、報告グ
ループの何組かは報告会前日遅
くまで会場に残って作業をし
ており、準備から当日の説明、
発表までに費やした学生たち
のエネルギーは相当なものでした。

そして何より、地域の方々の学生に対する暖かいまなざし
を感じ、改めて学生は地域によって育てられていると実感い
たしました。

その意味で報告会はひとつの区切り
として、また地域の方々との貴重
なふれあいの場としてとても大切
な機会であると思えました。
文末ではありますが、お忙しい中、
お越しいただいた皆様、ご挨拶や

コメントをいた
だきました各位に感
謝申し上げます。

(授業担当教員
山田 容)



※エンパワ4期生・・・2011年度後期から「地域エンパワねっとⅠ・Ⅱ」に取り組んでいる学生たちです。

TOPICS

第4期生 「地域エンパワねっと」報告会 STEP2 見つける STEP3 共有する

報告会に参加して

= ご参加いただいた方の感想文より =



●全体として、エンパワねっとの目的が学生によく理解されるようになり、
目的に沿った活動をしている。一段と内容が向上している。

●学生諸君へ
他の事例のコピーではなく、
もっと根っこに潜む問題点を
見つけ出し、発案してほしい。

●プログラムの過程で、少しずつ地域の方、関係機関と関わりを
深めておられることこそが一番の成果だと思います。
学生のスタイルで逆に地域がエンパワメントされているんだな、
と感じました。決して出来すぎでない、完成されていない点が
強い魅力だと自信をもっていただければいいと思います。

●初回のアポイントメントから企画、目的、
実施までを学生自身が行っておられる点が
すばらしいと感じています。(コミュニケー
ションや社会性につながる様々なスキルを
身につける要素も多いと感じます)

●「地域エンパワねっとⅡ」はさらに飛躍
させなければならないので、データも重
要であるが、データに振り回されず、自
分たちの考えをしっかりと軸にして活用し
ていくことが大切だと感じた。

●効果が直接的・短期的に検証できるものではな
いが、だからこそ必要・重要な試みであると思っ
た。「自分たちが地元を好きだから」という原点
から出発していることと、インタビューにかか
るバイアスを冷静に判断したことに好感を抱いた。

「地域エンパワねっとⅠ」を終えて

「地域エンパワねっとⅠ」は、「大津エンパ
ワねっと」の「発見」・「解決」・「共有」のうちの最初の
段階、「発見」を大切に活動してきました。
各グループとも、地域の皆さんにお話しを伺い、活動
に参加させていただきながら、小さいけれども確かな
「発見」ができたように思います。「地域エンパワねっと
Ⅱ」に向けて、地域の皆さんとの話し合いを大切に
して、着実に進んでいってください。

エンパワ4期生が、
成長していく姿を
見守り、指導をした
授業担当教員
のメッセージです



4期生を見ていて、
「大津エンパワねっと」のねらいの一つである
“学生同士の縦のつながり”ができてつあるなあと
うれしく思いました。多くのチームが、行き詰まった
ときに、2期生や3期生の先輩に連絡をとって当時の取り
組みを教えてもらったり、自分たちの活動へのアドバイスを
もらったりしていましたね。それは、4期生の皆さんが自分
たちの問題意識に真摯に向き合い、深めようとしたからこそ。
「地域エンパワねっとⅡ」が楽しみです。

4期生の皆さん、「地域エンパワねっとⅠ」お疲れ
様でした。この間、これからどうしていこうといった
戸惑いや、活動の行き詰まりなどの焦りがあったので
はないでしょうか。回り道のように感じられたかも知れ
ませんが、皆さんが悩み、話し、考え、動いてみたこと
ひとつひとつがそれぞれの成果を形作りましたね。
満足も反省も、すべて意味あることです。
これからもいい意味があがきながら、がんばった
ひとにしか見えないものを
つかんでください。

「まず現場に立つ。そして考える。」
私の尊敬するジャーナリストは、仕事の信条につい
てこう語っています。その心は「先入観に縛られるな」。
そう、人間関係にとって先入観は最大の敵なのです。
学生諸君は今、この言葉が心に浸みるのではないですか。
「地域の元気とはこういうもの」という先入観からもの
を見てなかったですか？地域の方々が語られた言葉を思い起こ
し、地元のニーズに今一度、静かに向き合ってみてください。

じゅずつなぎ COLUMN



第5回
大津エンパワねっと
3期生の
佐々木 秀規先輩
(社会学部 臨床福祉学科 3年)

良い意味で「遊び半分」という気持ちを
大切に地域活動に取り組んでいきたいです。

次回は・・・
龍谷大学 社会学部 地域福祉学科
長上 深雪 先生

継続の理由は・・・

大津エンパワねっと3期生です。私は中央学区
で行われている「ふれあいサロン」(月1回)に1
年間関わらせていただきました。そして、授業が
終了した後も活動を続けています。

その理由は「楽しい」からです。サロンでは、
二回も三回も年上の方たちから昔の話や思い
がけない事など色々な話を聞くことができるので、
半分以上自分のために行っていると言えます。

スケジュール・お知らせ

- 2月 15日(水): 「地域エンパワねっとⅡ」
オリエンテーション
- 2月 15日(水): 大津エンパワねっと推進委員(学内)
- 2月 24日(金): 大津エンパワねっとを進める会(中央)
- 3月 12日(月): 大津エンパワねっとを進める会
(瀬田東)
- 3月 16日(金): 卒業生を送る会(エンパワ2期生)